

日程	平成29年7月6日(木)
視察先	静岡県浜松市
視察内容	HAMAMATSU FREE Wi-Fi協議会の取り組みについて

概要 人口798252人 人口増加率マイナス0.33%
 人口比率(年少13.99% 生産年齢62.33% 老年22.64%)
 都市機能や先端技術が集積する都市群、都市近郊型農業が盛んな平野部、豊富な水産資源に恵まれた沿岸部、広大な森林を有する中山間地域と多様性を有する。

視察内容 平成26年10月に、官民協働による研究会を設立。背景としてモバイル端末の普及に伴い、観光振興・地域振興に有効な手段となり得るWi-Fi環境整備の効果や課題を研究するため。研究会での意見交換や情報共有を経て平成27年5月に9団体(民7官2)で協議会発足。

HAMAMATSU FREE Wi-Fiの提供条件として

- ① 共通SSIDを使用すること
 - ② 共通ロゴマークを掲示すること
 - ③ キャリアフリーであること
 - ④ 利用者に無料でサービスを提供すること
 - ⑤ 利用者が容易に利用できること
- と遵守すべきルールは少ない。



官として市内観光施設等11カ所、民として572カ所のAP(アクセスポイント)が存在する。

協議会組織における部会の役割

部会は目的別に設置され、専門的な事項を検討する役割を持つ。

(1) インバウンド推進部会

- 役割**
- ・Wi-Fi整備促進への説明会開催等の広報活動
 - ・Wi-Fi環境整備の補助事業(浜名湖観光圏)

メンバー 浜松商工会議所・遠州鉄道(株)・湖西市・浜松まちなかにぎわい協議会・浜松観光コンベンションビューロー・浜松市(観光シティプロモーション課 産業振興課)

(2) インフラ部会

- 役割**
- ・APの面的展開から動線を意識した整備促進
 - ・公衆無線LANの新たな用件への対応検討

メンバー 浜松ソフト産業協会・浜松地域活性化ICT技術研究組合・浜松市(観光シティプロモーション課 産業振興課 情報政策課)

(3) 調査・研究部会

- 役割**
- ・防災等他分野への利活用研究、最新技術調査
 - ・Wi-Fiを活用した地域イベントとの連携

メンバー 浜松ソフト産業協会・浜松地域活性化ICT技術研究組合・イノベーション推進機構・浜松市(産業振興課)

浜名湖観光圏無料無線LAN整備事業費補助金制度内容(平成27年11月～平成28年2月)

補助率・補助対象経費の二分の一以内
 限度額・AP一カ所あたり上限30000円

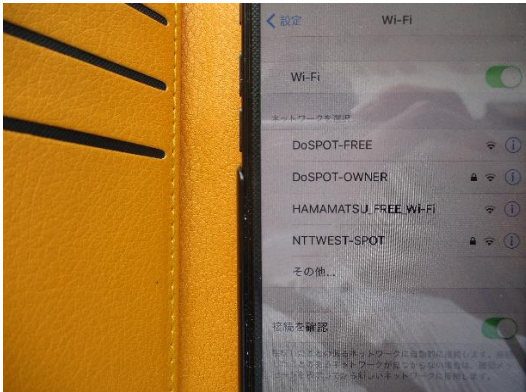
中心市街地整備から始まり、観光圏滞在促進地区へ拡大された。現在は補助はないが、HAMAMATSU FREE Wi-Fiのロゴマークがブランド化され、幅広く認知もすすみ、APは増えている。ストリートWi-Fiのある商店街もある。点としてのAPが面として発展し、浜松駅からの動線になっている。数値としての効果はまだ把握できていない様子だが確実にWi-Fiが歩くまちづくりに一役買っている状況であることは実証されている。



視察内容 HAMAMATSU FREE Wi-Fi協議会の取り組みについて

提供内容 先の五つの提供条件を守れば、あとは自由のため、歩く人たちがWi-Fiに接続した瞬間に自分のページにジャンプさせることも可能である。
(例)浜松城でHAMAMATSU FREE Wi-Fiに接続した場合

①



②



①HAMAMATSU FREEWi-Fiを確認のちアクセス

②浜松城公園が扉として現れる。

例えば、商店街のそば屋さんがAPを持ち、接続確認できたらメニューや料理の説明などの情報が扉に出てくるなど、設置者に自由な情報提供ができる。

所感

岡崎公園において、五つのエリアで岡崎フリーWi-Fiが利用できる。岡崎公園のホームが開くことから、岡崎市にも浜松市と同じノウハウがある。ただ他の観光施設等の配備はなされておらず、民間事業者による個々でのAP設置増化に頼っている。なのでその事業者のみの各店舗ごとのサービスの意味合いが強く、今後に向けて岡崎市としてのWi-Fi環境整備計画のコンセプトが必要になるのではないかと考える。浜松市では中心市街地の活性化を目的にスタートした。駅・科学館・大学・商業施設・浜松城・市役所を含む中心市街地区域でのAP設置への補助を行った。岡崎市においても、東岡崎駅から岡崎城や籠田公園など「歩くまちづくり」を推進しており所要所での休憩エリアでのフリーWi-Fiは必須ではないかと考える。歩き、ゆっくり滞在してもらうためにも、現在の各店舗ごとの点のAPではなく点が面になる商店街、また川沿いをゆっくり歩いてもらうための施策にストリートWi-Fiゾーンの検討もされたい。

また浜松市には主要観光スポットや主要施設には浜松市がAPを設置している。岡崎市でも岡崎公園だけでなく、東公園・南公園・中央総合公園内の各所・美術館・こども美術館・げんき館等の滞在型設備、また市民センター等の利用者からもWi-Fiの要望も聞いている。今後に向けての設置計画を官民一体となって進めていく必要性を感じる。観光拠点はもちろん市民がくつろぐスペースでのAP設置を求めたい。

災害時における避難場所等のAP設置も視野に入れ、避難場所である学校にもAP設置を考えることにより、防災拠点の情報整備計画や教育現場のICT化計画との連携もある。

ちなみに浜松市では「戦国BASARA」とのタイアップでアプリによるスタンプラリーを行い40カ所の浜松市のスポットを作成。15カ所で「家老」30カ所で「城主」となり、その都限定のオリジナル商品・画像がもらえる仕組みである。Wi-Fiスポットの整備はこのような老若男女を取り込むイベントとの連携も可能である。

関連テーマによっては自治体が連携し、大きなイベントへ発展していく可能性も考える。まずは岡崎市においてもFREE Wi-FiのAP設置計画と設置推進を要望していきたい。

